



2022年3月6日～3月12日は『世界緑内障週間』です！

今回のクリニック通信では緑内障についてお話します。みなさんは、世界緑内障週間をご存じでしょうか？

世界緑内障週間とは、世界緑内障連盟が実行組織となって、2008年から世界一斉に行われてきた緑内障啓発のための国際的なイベントです。

眼科豆知識 ～緑内障について～

○緑内障とは

緑内障とは、眼圧によって視神経が障害されて、視野(見える範囲)が狭くなったり、部分的に見えなくなったりする病気です。眼圧が正常範囲内でも緑内障が起こる場合があります、「正常眼圧緑内障」と呼ばれます。他にも、緑内障は特徴によってさまざまなタイプがあります。

○日本の視覚障害原因疾患の1位が緑内障です

現在、日本人の40歳以上の20人に1人が緑内障と言われています。緑内障は、ほとんどの場合、症状が進行するまで自覚症状がありません。緑内障は完治することはありませんが、早期に発見しきちんと治療を継続することで進行をゆっくりにすることができる病気です。40歳を過ぎたら眼の定期検査を受けましょう。下記に当てはまる方は、特に意識して定期的に眼科を受診されることをおすすめします。

- ① 眼圧が高いと言われたことがある
- ② 人間ドッグや検診での眼底写真で要精密検査と言われた
- ③ 強度の近視または遠視がある
- ④ 血縁者に緑内障の方がいる
- ⑤ 目のケガをしたことがある
- ⑥ ピントが合いづらい、かすむなど見え方に気になるところがある



大切なのは「早期発見」と「継続治療」です！

院長より

今年も世界緑内障週間の期間中、サンポート高松がグリーンにライトアップされる予定です。もしかしたら、他にもライトアップされている場所があるかもしれませんね。

3月は転勤や異動が決まる時期ですが、当院で治療を継続しておられ、引っ越しが決まった方がいらっしゃいましたら、紹介状を記載いたしますので、ご連絡くださりましたら幸いです。特に緑内障は今までの治療経過がとても大切です。

皆様の健康が守られ、素敵な春が訪れますようにとお祈りしています。

編集者より



当院にも緑内障治療のために定期的に通院されている患者さんが多くいらっしゃいます。自覚症状がない状態では何のために点眼を続けるのだろうと思われるか、通院が大変だなと思われるかもしれません。治療の大切さを知っていただき、通院が少しでもいいことだと思っただけのよう心地の良いクリニックの雰囲気づくりに努めます。気になることがあればお声がけくださいね！

HPIにてスタッフブログも更新中です！

morishita-eye.jugem.jp

